

令和 8 年度第 1 回大船渡市立博物館協議会 会議録

開催日時 令和 8 年 6 月 4 日（木）午後 1 時 30 分～午後 2 時 37 分

開催場所 大船渡市立博物館 多目的ホール

出席者 【委員 6 名】

佐々木康人、中嶋敬治、千田房代、佐々木イザベル、鈴木優里、菅原宰喜

【事務局 6 名】

教育長 小松伸也、 教育次長 花崎誠、 博物館長 伊藤喜久雄、
館長補佐 新沼千鶴子、 係長 村田匠、 主任学芸員 古澤明輝

内 容

- ・ 報告：令和 7 年度大船渡市立博物館事業実績について
- ・ 協議：令和 8 年度大船渡市立博物館事業計画について

主な意見等（要旨）

- ・ 常設展示について、学芸員による解説があったほうが、来館者にとって理解が深まるのではないか。
- ・ 令和 8 年度の基本事業の中に、「地質や考古を中心に、各分野における展示や体験学習等の開催」という記載がある。当博物館の特色を捉えていて、それを前面に出していくことはよいことだと感じた。
- ・ 展示資料を実際に手に取って、本物に触れる機会があると、もっと興味がわくのではないか。
- ・ 博物館というのは、自分の興味あるものでなければ実際のところ足を運ぶのはちょっと難しいと思う。県内他市の博物館では、和算の問題を出題し、解答を応募すると表彰されるという企画があるので、アイディアとして紹介する。
- ・ 企画展のパネルの説明が、簡単すぎず難しすぎず、ちょうどよいレベル感でまとめられていて、興味を持つきっかけとなった。
- ・ イベントの参加者アンケートで、意見を集約していると思うので、その意見を取り入れたときには、公表したほうが、みんなで博物館をつくっているという感覚が持てると思う。
- ・ 子どもたちが気軽に博物館に足を運べるような機会があるとよい。
- ・ 越喜来湾には、船からしか見られない地層などがあるので、アクティビティの中に、船に乗って地層を見に行くというのがあるとよい。

※ 以上、出された意見を踏まえ、今後、博物館事業を進めていくこととした。